

# 令和6年第3回定例会（9月議会）の概要



中津市議会議員 大塚正俊



令和6年第3回定例市議会（9月議会）は、9月2日から27日の26日間開催されました。令和5年度一般会計決算の認定等決算議案10件、令和6年度一般会計補正予算等の予算議案5件、条例議案6件、その他議案4件、報告案件6件、意見書1件の計32件が上程され、決算議案を除き原案どおり可決しました。なお、決算議案10件は9月30日から10月4日の間審査され、12月議会で採決が行われます。

# 令和6年9月議会一般質問の概要

■私は、代表質問で以下の項目について執行部の考え方を質しました。

## 1. まったなしの災害対策

- ①酷暑における大規模停電への備え
- ②災害時助け合い、住民支え合いマップづくり
- ③災害時等における行政手続の支援

## 2. 不滅の福澤プロジェクトの成果と今後の取り組み

- ①取り組みの成果と今後の取り組み
- ②福澤先生の生誕の日を記念日に

## 3. 合併20周年、市制100周年に向けて

- ①合併による効果、問題点と課題
- ②合併20周年の検証を
- ③市制100周年に向けた検討委員会の設置
- ④新中津市史の編さん

## 4. 道路、水路の管理について

- ①市道、農道、里道、水路敷の草刈り
- ②要望書の対応



【一般質問議事録抜粋】

# 令和6年9月定例議会で決まったこと。【抜粋】

## 1. 令和6年度一般会計補正予算(第3号)

補正額 9億8,828万円(補正後予算額475億5,373万円)

《新規・拡充事業（抜粋）》

### □学校給食提供支援補助金事業（物価高騰支援分）；1,993万円

- ・ 食材費の物価高騰を受け、学校給食会計の運営に影響が生じているため、給食費の値上げを回避するため同会計への支援を増額する。
- ・ 補正後予算額；7,274万円



令和6年度地産地消夏野菜カレー（第1共同調理場）

## □水産物流通改善支援補助金事業；360万円

- 燃油価格高騰の影響を受けている漁業関係者に対し、操業にかかる燃料代を支援する。
- 対象期間：R6.10～R7.3
- 対象者；42名×6ヶ月
- 補助率；1/4



小祝漁港の様子

## □公共施設等整備基金積立金事業；4,886万円

- 公共施設の老朽化に伴う整備・更新等のため、令和5年度市営駐車場の収益、土地売払収入を原資として、公共施設等整備基金へ積立を行う。
- 補正後基金残高見込額：13億937万円



## □韓国晋州市交流事業；134万円

- ・友好増進のための相互交流協約を締結している韓国晋州市（チンジュ市）への訪問に要する経費
- ・市長、議長他10名分



相互交流協約締結式

## □戸籍システム改修；578万円（内国庫支出金；177万円）

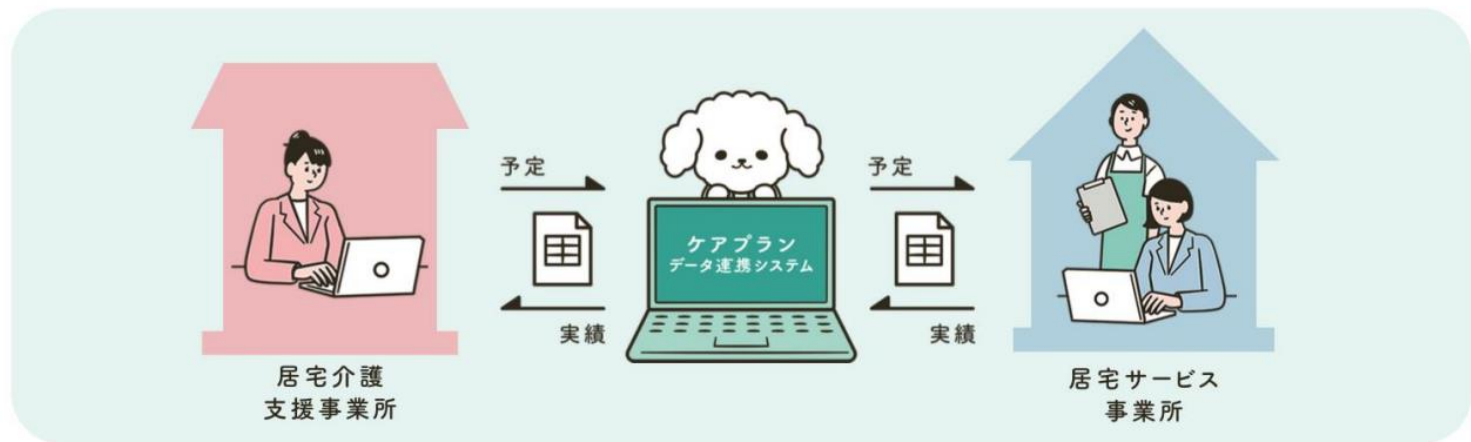
- ・改正戸籍法の成立に伴い、住民票等に氏名の振り仮名を記載し、マイナンバーカードへの氏名の振り仮名及びローマ字表記等を行うため戸籍システムの改修等を行う。

## □ケアプランデータ連携システム利活用促進事業；850万円 (内県補助金；850万円)

- 居宅介護支援事業所と居宅サービス事業所間でのケアプランデータの連携をシステム上で行えるよう、導入・活用の支援を行う。

### ケアプランデータ連携システム

居宅介護支援事業所と居宅サービス事業所とのケアプランのやりとりを、オンラインで完結できる仕組みです。



Copyright© 公益社団法人 国民健康保険中央会

## □放課後児童健全育成事業；3,598万円

(内国庫支出金＋県補助金；2,398万円)

- ・常勤職員を2名以上配置する放課後児童クラブについて、国庫補助の基準額が増額となったため、放課後児童クラブの運営委託料を増額
- ・対象：19クラブ
- ・40人のクラブで年額170万円の増



## □なかつ6次産業創生事業；186万円

- ・6次産業推奨品への補助件数増による増額
- ・当初予算見込4件→実績見込8件



NAKATSU Five Stars Story  
(なかつファイブスターストーリー)



上記条件をクリアするという願いを込めた生産者の物語



## □九州・中津ブランド推進事業；586万円

- ・これまでの「なかつ6次産業推奨品制度」から、対象品目を1次産品や食品以外の加工品に拡大した新たな認証制度を創設し、市の産品等の魅力を効果的に発信し、知名度向上や販路拡大を図るとともに、中津市のブランド力向上を図る
- ・九州・中津ブランド推進補助金 340万円
- ・九州・中津ブランド推進協議会運営補助金 246万円



和傘工房「朱夏」の和傘



中津市ブランド牡蠣  
「ひがた美人」

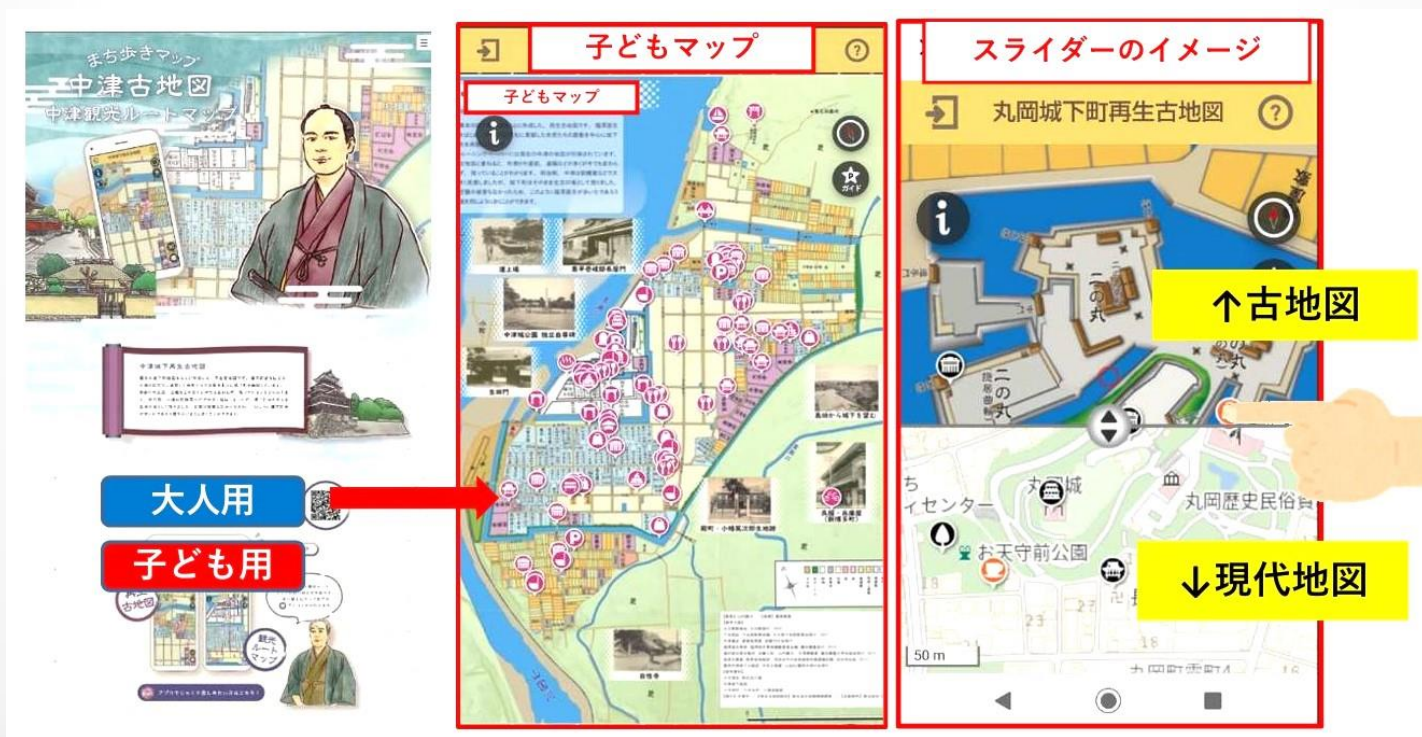
## □中津玖珠日本遺産推進協議会補助金；601万円 (内国庫支出金等；301万円)

- 文化庁等の補助事業の採択を受け、中津玖珠日本遺産推進協議会への補助金を増額
- ①日本遺産魅力増進事業（文化庁）
  - ウェルネスツーリズムをテーマとした「やばはく」の新しい体験プログラムの造成
  - 事業費：468万円
- ②日本遺産周遊体験ツーリズム事業（日本観光振興協会）
  - 公共交通等を利用した観光周遊ルートの構築
  - 事業費 R6年度：134万円  
(R7：795万円)



## □子ども用中津城下再生古地図活用事業；43万円 (内寄付金；20万円)

- ・青少年育成を目的とした寄附金を活用し、令和6年4月に中津市が公開した「まち歩きマップ ー福澤諭吉が生きた幕末の中津を歩こうー」の子ども版を製作する。



デジタル版まち歩きマップ（子ども版）





## 《 令和6年梅雨前線豪雨に係る災害復旧事業（抜粋） 》

- 農地及び農業用施設災害復旧事業；6,178万円
  - ・ 栃木地区（耶馬溪）、屋形川地区（山国）など70箇所
- 林業用施設災害復旧事業；4,180万円
  - ・ 宇治藤原線（山国）など16路線（30箇所）
- 道路災害復旧事業；5,490万円
  - ・ 奥畑地区（耶馬溪）など30箇所
- 河川堤防災害復旧事業；1億1,950万円
  - ・ 迫川（三光）、坂山川（耶馬溪）、行司平川・茸川（山国）



山国町林道宇治藤原線



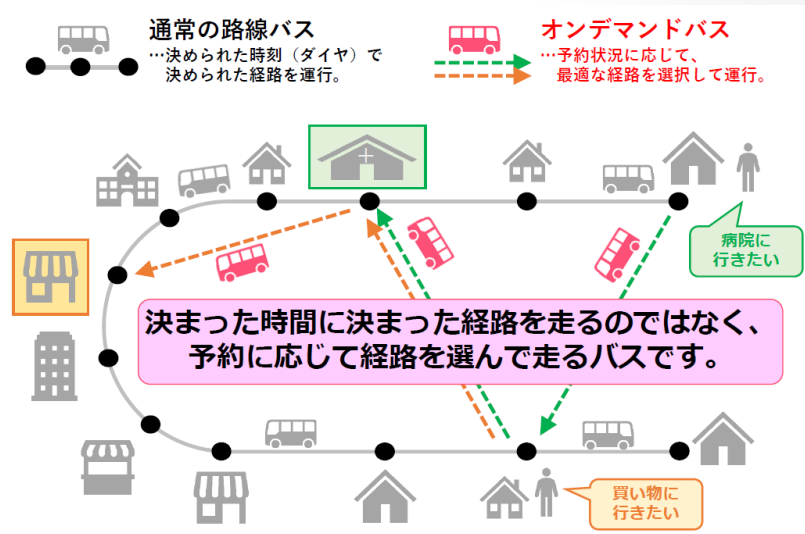
山国町行司平川災害（長尾野地区）



## 2. 条例の一部改正(抜粋)

### □山国バス事業の設置等に関する条例の一部改正

- ・ 定時定路線の山国バスをデマンド運行に変更し、利便性向上や利用客の拡大を図る。
  - ・ 乗車料金；100円⇒200円（1回）
  - ・ 令和6年10月より試験運行開始
- ※デマンド運行は、利用者からの事前の要望（予約）に応じて、どのルートで運行するか（どの停留所を経由するか）を決めるタイプ。  
（乗降車場所が決められている。）



## □中津市民病院及び小児救急センター使用料及び手数料条例の一部改正

- 妊婦等が抱える不安の解消を図るために実施する児の出生前遺伝学的検査及びカウンセリングに伴う新たな料金を設定する。
- 非侵襲性出生前遺伝学的検査(以下「NIPT」という。)に係る検査料(手技料等を含む。)1回につき 110,000円
- NIPTに伴うカウンセリング料 1回につき 5,500円
- NIPT検査により、ダウン症(21トリソミー)、18トリソミー、13トリソミーの3つについて、病気がある可能性を調べます。
- 令和6年10月1日施行



中津市民病院の新生児集中治療施設 (NICU)

## □葬斎場及び火葬場の設置及び管理に関する条例の一部改正

- 施設の老朽化に伴い、現在供用を停止している山国地区火葬場（常光苑）を廃止する。



## □学びの里なかつ推進宣言条例の制定

- 未来に向けて人とまちが発展する「学びの里なかつ」を目指し、「学び」をキーワードとしたまちづくりを進める。

### 3. 財産の取得

#### 『消防団小型動力ポンプ付軽積載車4台』

- 取得する物 消防団小型動力ポンプ付軽積載車4台
- 取得価格；29,436,000円
- 配備先；本耶馬溪町12分団、耶馬溪町5分団・11分団  
・15分団
- 仕様：小型軽バン、排気量660CC、オートマ4WD



小型動力ポンプ付軽積載車



## 4. 意見書【採択】

### □自動車関係諸税等の抜本の見直しを求める意見書【採択】

1. 車体課税に関し、自動車重量税の「当分の間として措置される税率」を廃止するとともに、複雑な課税制度を簡素化し、自動車税・軽自動車税(種別割/四輪車・二輪車等)の税額引き下げによる、負担軽減措置を講じること
2. 燃料課税に関し、「当分の間として措置される税率」を廃止するとともに、複雑な課税制度を簡素化し、消費税との二重課税の解消を図るための措置を講じること
3. EV・FCV等に対する増税の論議について、電動車普及促進の足かせとなる懸念があることから慎重に行うこと
4. 自動車関連諸税の抜本的な見直しを行う際には、地方財源へ影響を与えないよう、必要な措置を講じることが前提とすること





## 5. 自由討議

### (1) 文化財をまちづくりにもっと活かさないか

(補足説明者：本田哲也議員議員)

- ①文化財との関わりと変化は
- ②継承・活用の問題点はどこにあるか
- ③解決策、将来像は描けるか



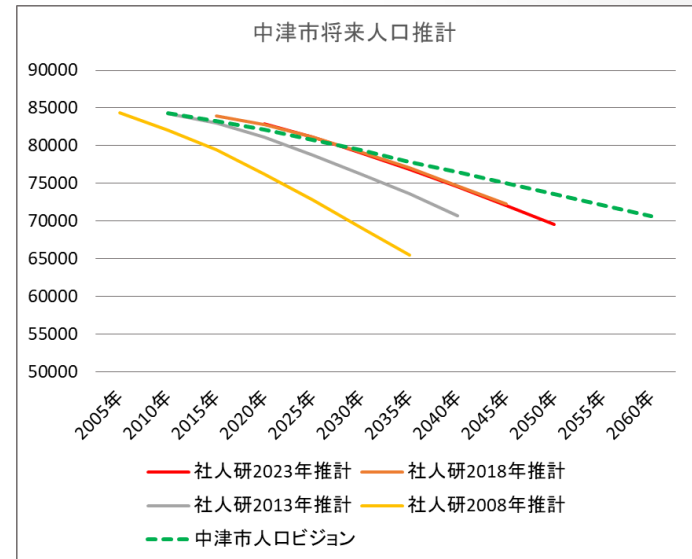
#### 【私の提言】

中津市内にある国・県・市指定文化財について、旧中津市については小学校で学習したが、旧下毛地域については学習できていない。そこで、指定文化財をデータベース化して、位置や概要をネットで調べられるようにすべき。また、市のHPにイベントカレンダー作成し、お神楽や地域の祭りの日程等がわかるようにすべき。さらに、ディープな文化財巡りとして、学芸員がガイドを務めるツアーを企画し、実施してはどうか。これらの取り組みにより、市内の文化財を知り、守り、育てる機運の醸成につながるものと確信しています。

## (2) 明るい希望のもてる地域活性化を探ろう

～「新地方消滅論」に抗して (補足説明者：三上英範議員)

- ①今ある地域活性化の可能性とその拡大のために
- ②住み続けることができない理由とその共有
- ③若者が夢と希望を抱き、高齢者が安心できる中津



### 【私の提言】

新地方消滅論において中津市は消滅市町村に入っていないが、旧本耶馬溪町、耶馬溪町、山国町を分割して評価すると間違いなく消滅自治体に含まれる。次回の2025年国調データによる人口推計では、中津市も消滅自治体に入る可能性がある。15年ほど前に850人を超えていた出生数が480人まで激減している。

この危機的状況を打破するためには、移住を真剣に取り組み、最低でも田園回帰1%を達成する必要がある。移住を推進するためには、住居や仕事等の課題も併せて解決していかなければならない。

## “地球温暖化防止へ行動を”

「今年の夏の暑さは過去最高です」。毎年のようにニュースで伝えられる言葉です。

識者によれば「現状の世界の対策ペースで、2100年ごろまでに44℃くらいはあり得る。もっと高くなる可能性もないわけではない。さらに、世界の温室効果ガスの排出量を実質ゼロまで減らさないと地球温暖化は止まらない。」と温暖化対策の重要性を強調しています。

地球温暖化を食い止めるため、今を生きる私たちが生活のあり方を見直したり、話し合ったり、社会のシステムをどうしたらよいかを考え、解決に向けて力を尽くすことが大切だと考えます。



2100年未来の天気予報(環境省)

**編集後記 (ひとりごと)** 震災からの復興に向けて進んでいた石川県・能登半島が再び甚大な被害に見舞われました。記録的な大雨により、各地で河川の氾濫や土砂崩れが発生。被災された皆様方にお見舞い申し上げますとともに、一刻も早い復旧復興を祈念します。(まさとし)